

ヤスデ類

分類：ヤスデ綱(倍脚綱)

学名：Diplopoda

英名：Millipedes



(ヤスデ綱の1種)

■解説

体は黒色に近いものから明るいものがある。背板のそれぞれ中央部に横溝線が1本ずつある。体は20節からなり、第2～4節には各1対、第5～18節には2対の脚を有する。畑や空き地などに堆積した枯葉や落葉が半腐熟し、湿っているところに群がり、これらの腐植質や菌類を食物とする。

5月と9月を中心とし年2回の繁殖期を持つ。雌は地表下10～30mmの腔所に150～350個の卵を産下する。卵は約1～2週間で孵化して7回の脱皮を経て成虫になる。交尾産卵を終えて約2週間で死ぬ。1世代の期間は、満1年である。

■体長

卵：－

幼虫：－

成虫：20mm(ヤケヤステ[®])¹⁾

30～40mm(キシヤステ[®])¹⁾

60mm(ニコイロハ[®]ヤステ[®])¹⁾

20mm(ヒガシホ[®]ヤステ[®])¹⁾

■産卵数

産卵数/生涯：150～350個(ヤケヤステ[®])²⁾

■ライフサイクル

卵：1～2週間(ヤケヤステ[®])²⁾

幼虫：－

成虫：－

■発育零点(発育停止温度)

－

【参考文献】

- 1) 篠原圭三郎. 野外の毒虫と不快な虫. 全国農村教育教会. 梅谷献二編集. 2007, p. 239-243
- 2) 松崎沙和子・武衛和雄. 都市害虫百科. 朝倉書店. 1993, p. 211

【写真出展】日本ペストコントロール協会